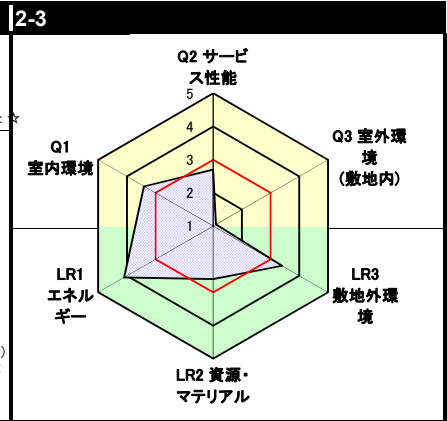
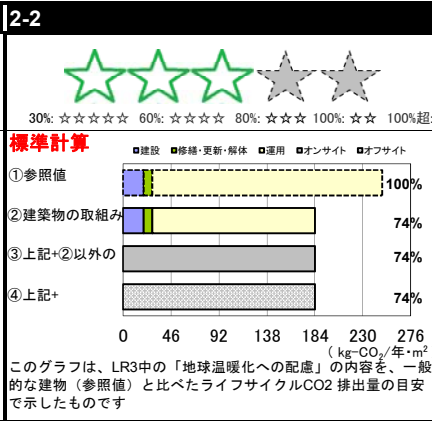
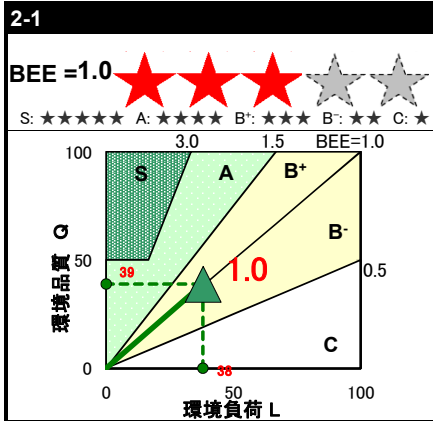
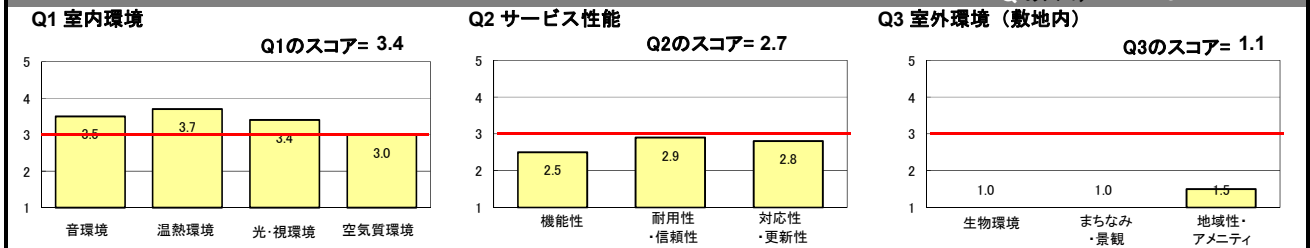




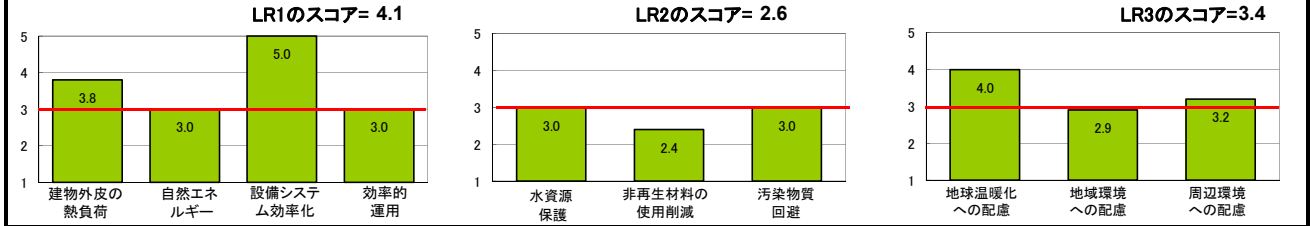
1-1		1-2		
建物名称	(仮称)長者町4丁目等価交換プロジェクト新築工事	地上10F	外観パース等	
建設地	神奈川県横浜市中区長者町4丁目10-2-3-4-5-15	構造		RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員		120 人
地域区分	6地域	年間使用時間		8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店・集合住宅	評価の段階		実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 竣工	評価の実施日		2019年6月5日
敷地面積	457 m ²	作成者		大和ハウス工業株式会社 東日本中高層技術センター一級建築士事務所
建築面積	346 m ²	確認日		2019年6月5日
延床面積	2,987 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 東日本中高層技術センター一級建築士事務所	



2-4 Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 総合

<p>重厚感のある外観とするため、南面はバルコニーの外側に柱を配置するアウトフレーム方式を採用している。また、大通りに面した敷地であることから、街並みに配慮し、1階に店舗を計画している。</p>	その他	0
<p>Q1 室内環境 室内環境について、高い遮音性や昼光率を確保している。また、住宅専有部分について、外皮性能を高め、室内環境の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能 空調・給排水配管の更新対策に配慮した設計とし、建物のサービス性能に努めている。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) 標準的な配慮を行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー 住宅専有部分について、断熱等性能等級4とし、建物全体のBEIを0.76としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 標準的な配慮を行っている。</p>	<p>LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率74%とし、光害の抑制にも配慮した設計としている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



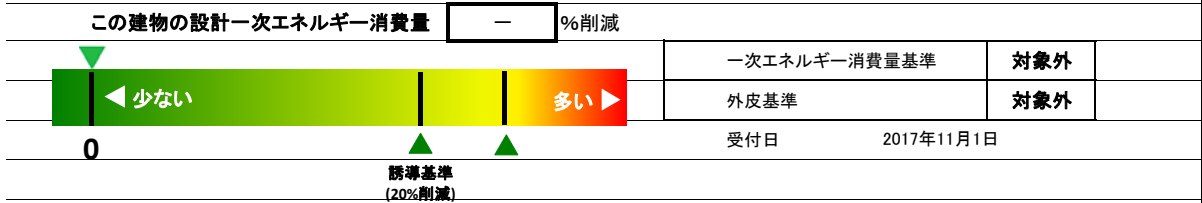
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)長者町4丁目等価交換プロジェクト新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 ー

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①住宅専有部分: 断熱等性能等級4

③BEI=0.76

※非住宅部分は設備未確定のため、未計算です。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩住宅専有部分: 3.6%、店舗部分: 2.7%

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰空調・給排水配管: 主要3用途にBを使用、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	



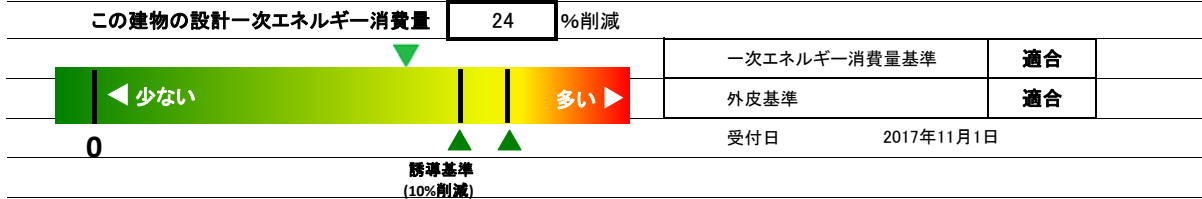
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)長者町4丁目等価交換プロジェクト新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①住宅専有部分: 断熱等性能等級4

③BEI=0.76

※非住宅部分は設備未確定のため、未計算です。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰空調・給排水配管: 主要3用途にBを使用、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	